

鶉野中町

昔は「ウズラ野」と呼ばれていた原野で江戸時代の開拓で鶉野新家と呼ばれていました。昭和17年から20年の飛行場建設による疎開と戦後の民間払い下げで多くの開拓団が入植し、戦後の町村分離で鶉野町が上、中、南の三町に分かれ、今の鶉野中町ができました。

今も中央部には滑走路が残り、多くの防空壕も点在しています。昭和になり企業が進出して工場集積地にもなっています。また南部には神戸大学農学部附属農場があり、放牧地や農地・果樹園が広がっています。

57 鶉野飛行場跡

58 鶉野飛行場資料館

60 平和祈念の碑 防空壕

61 フラワー道路

57 鶉野飛行場跡 60 平和祈念の碑 鶉野中町

鶉野飛行場は太平洋戦争が悪化しはじめた頃、優秀なパイロットを養成するため、昭和17年に着工し18年に完成した旧日本海軍の飛行場です。戦後は防衛庁所管となり、当時のままの姿で残っている国内でも貴重な戦争遺産です。

平和祈念の碑は鶉野飛行場で編成された神風特別攻撃隊「白鷺隊」63名が昭和20年の沖縄戦で戦死されたことを悼み、鎮魂と平和を祈念する思いを込め、平成11年に建立されました。



防空壕 鶉野中町

現在残っている防空壕の中で最大のもので鶉野飛行場の飛行指揮所だったところです。地下に大きな部屋があり、当時の日本を守るために作戦を考えていた様子が目に浮かびます。



58 鶉野飛行場資料館 鶉野中町

鶉野飛行場のほぼ中央を横切る市道沿いにあり、飛行場建設経緯、飛行訓練、紫電改製造など当時の資料を展示しています。

第1・第3日曜日 10時～16時の開館です。



61 フラワー道路 鶉野中町

鶉野中町花家族の会の皆さまが中心となり、町を花いっぱいにする活動をされています。
花を愛するやさしさがあふれ、遠くから来られる方を歓迎しています。



本当に町全体に花が一杯あります。

花家族の会は他にもサロン喫茶やDVDコンサートを定期的にされて、高齢者の健康増進、町内融和を積極的に図られています。

(写真は花家族の会HPより)

